

## 建設経済常任委員会

## 鶏糞を使った発電システム事業

## 二か年事業で総事業費約二〇億円

宮之城町農業集落排水事業の設置及び管理に関する条例の一部改正について

問 今回の改正により、個人使用料金の増加額は。

答 四大家族世帯で月額二一〇円の負担増となる。

宮之城町簡易水道事業の設置及び管理に関する条例の一部改正について

宮之城町営農飲雑用水事業(終野・白男川地区)を、宮之城町簡易水道事業に編入するもの。

問 編入することによって、使用料金に影響が出るのか。

答 料金は、以前と変わらないが、消費税課税分が増となる。

平成十六年度宮之城町一般会計予算(関係分)

## 焼酎用カンシヨの栽培ができないか

問 焼酎ブームのなかで、カンシヨが不足する事態のようだが、新たな米改革大綱の取り組みとして、水田を活用したカンシヨ栽培を進められないか。

答 関係機関・団体で栽培について協議したが、水分過多等で問題があるようだ。今年度、一ツ木・終野地区で試験栽培を計画している。



鶏糞発電システム事業の予定地(山崎のアクシース緑の敷地内)

問 畜産費のなかで、バイオマス利活用フロンティア整備事業の内容は。

答 南九州バイオマスが事業主体で、山崎地区に鶏糞を使

った発電システム事業が計画されている。十六、十七年度事業で、総事業費約二〇億円を見込んでいる。

平成十六年度宮之城町水道事業会計予算

問 送配水管の整備状況は。

答 今年度、上向水源地から配水池までの老朽管を取り替える。老朽管や石綿管の取り替えは、これまで計画的に実施してきており、ほとんど改良済みとなった。

平成十六年度宮之城町農業集落排水事業特別会計予算

問 今後の加入率の動向は。

答 二月末の加入戸数が、三二二戸で七二・八割の加入率となつている。平成十六年度目標としては、三二七戸の七四割を見込んでいる。